

# 飯田市農業振興ビジョン (案)

～ 誰もが考え実践できる、  
特色ある地域農業の実現 ～

平成30年2月

飯 田 市

## ～目 次～

### I 農業振興ビジョン策定にあたって

- 1 ビジョン策定の趣旨……………1
- 2 ビジョンの位置づけ……………1
- 3 計画期間……………1
- 4 ビジョンの構成……………2

### II 現状の分析

- 1 農家数と農家人口の著しい減少……………3
- 2 他市と比較した農業の特徴……………5
- 3 生産する農畜産物の特徴……………11
- 4 リニア時代の到来など  
時代背景の変化に向けた対応……………13

### III 農業振興の方向性

- 1 飯田市農業の振り返り……………14
- 2 農業振興の方向性……………14
- 3 農業振興施策の展開の考え方……………14

### IV ビジョンの基本構想、基本的方向

- 1 キャッチフレーズ……………15
- 2 基本構想（11年間）……………15
- 3 基本的方向（4年間）……………16
- 4 基本目標ごとの戦略的展開……………16

### V 協働による農業振興施策の推進

- 1 事業推進の考え方……………20
- 2 推進体制と役割……………20
- 3 協働体制の再構築……………21

### 【 参考資料 】

- ・ワーキングホリデー飯田の受入れ実績……………22
- ・新規就農のための営農モデル（6つの事例）……………23
- ・市内16地区農業の現状分析……………26

# I 農業振興ビジョン策定にあたって

## 1 ビジョン策定の趣旨

本市の農業・農村を取り巻く環境は、農業従事者の減少と高齢化、農地の遊休荒廃化の進展、農村活力の減退など様々な課題があります。

国においては、「食料・農業・農村基本計画」を策定し、農業を足腰の強い産業としていくための「産業政策」と農業・農村の有する多面的機能の維持・発展を図るための「地域政策」を車の両輪として農業政策を進めています。

食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興に関する施策を進めるとともに、農業の成長産業化を図ることを目的として、農業に関わる団体・組織の再生整備のための法改正が行われました。

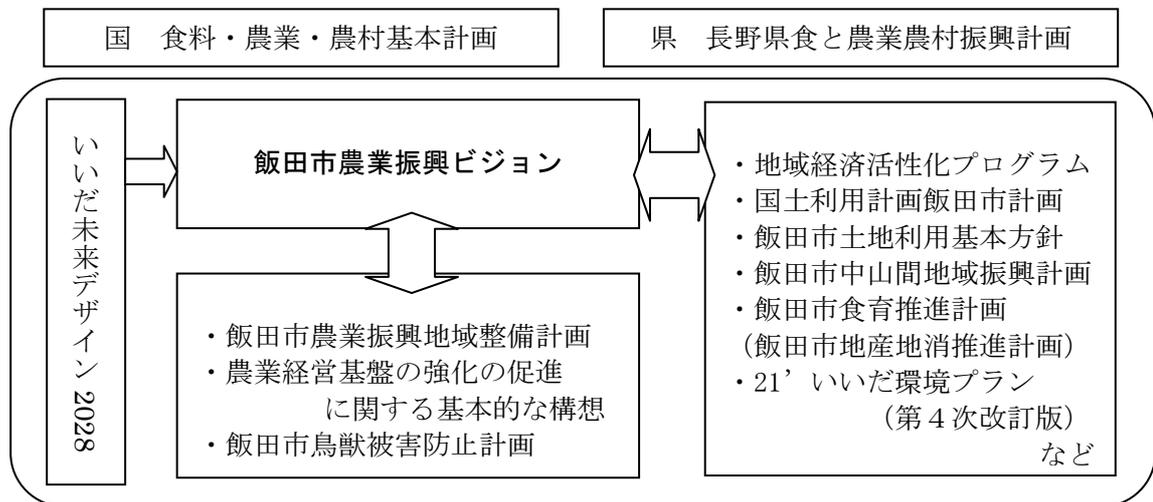
本市においては、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の全線開通など高速交通網の整備により、社会環境と共に農業を取り巻く環境は大きく変化していくことが予想されます。

このような状況を踏まえ、農業振興を進める意義を確認し、農業分野の課題解決と活力ある農業・農村の構築による地域活性化を図るため、今後の農業政策の指針となる「飯田市農業振興ビジョン」を策定します。

## 2 ビジョンの位置づけ

飯田市農業振興ビジョンは、飯田市の総合計画である「いいだ未来デザイン2028」を上位計画とする、農業分野の個別計画として位置づけます。

国の「食料・農業・農村基本計画」、県の「食と農業農村振興計画」等の内容を踏まえつつ、飯田市の農業関連計画等と整合を図りながらビジョンを推進します。



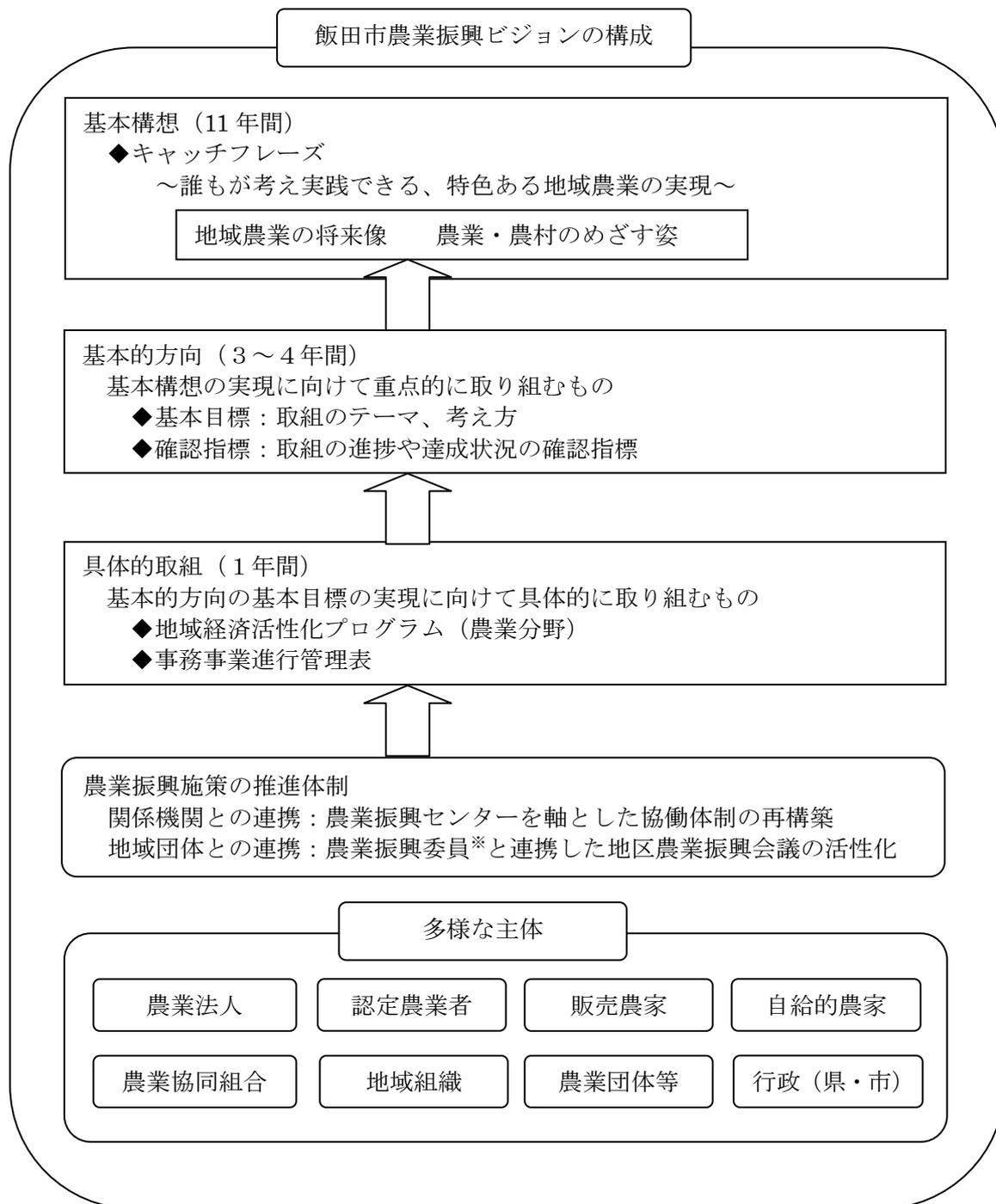
## 3 計画期間

計画の期間は、「いいだ未来デザイン2028」平成29年度(2017)～2028年度との整合性を図り、平成30年度(2018)から2028年度までの11年間とします。

なお、計画の進捗状況や社会・経済情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

#### 4 ビジョンの構成

飯田市農業振興ビジョンでは、基本構想として計画期間である 11 年間の「めざす農業・農村（地域）の姿」を掲げ、その実現に向けた取組の「基本的方向」と各年度の具体的取組により、ビジョンの実現を目指します。



※農業振興委員…「農業振興委員」は飯田市が委嘱する専門委員で、農業委員と農地利用最適化推進委員が務めます。両者が緊密に連携、協力して農業振興を推進する体制とすることを目的としています。

## Ⅱ 現状の分析

### 1 農家数と農家人口の著しい減少

飯田市の農家数は、著しい減少傾向に歯止めがかからない厳しい状況にあります。

平成17年と平成27年の10年間を比較すると、総農家数で15.8%、販売農家数に至っては、27.0%の大幅な減少となっています。ただ、自給的農家数は3.5%の減少にとどまり、農業分野の一翼を担う存在となつて、本市の農業を支える大きな柱となっているとも言えます。(表1、グラフ1)

農家人口については、農業従事者数で37.7%の大幅な減少という非常に厳しい現状となっています。(表2、グラフ2)

販売農家うち、後継者がいない農家が62.0%を占め(表3、グラフ3)、さらに70歳以上の担い手の割合が47.2%と半数近くであり、農家の担い手不足の厳しい現実がわかります。(表4、グラフ4)

【表1：農家数の推移】

単位：戸

調査年	昭和55年	平成2年	平成17年	平成22年	平成27年	17/27比較
総農家数	8,134	6,749	5,349	5,021	4,502	△15.8%
販売農家数	—	4,374	2,812	2,451	2,053	△27.0%
内訳	専業	1,263	779	602	683	11.5%
	兼業	6,871	3,595	2,210	1,382	△37.5%
自給的農家数	2,375		2,537	2,570	2,449	△3.5%

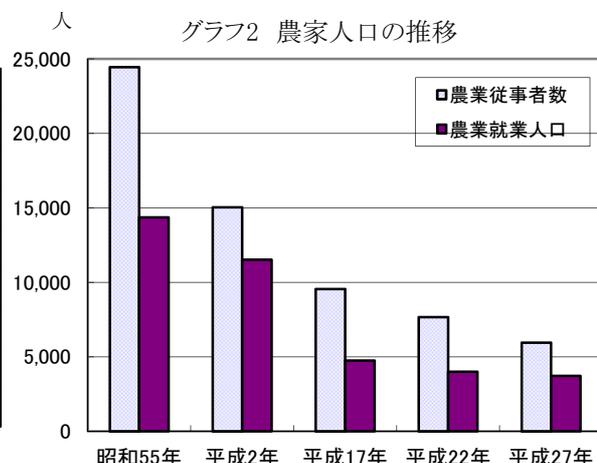
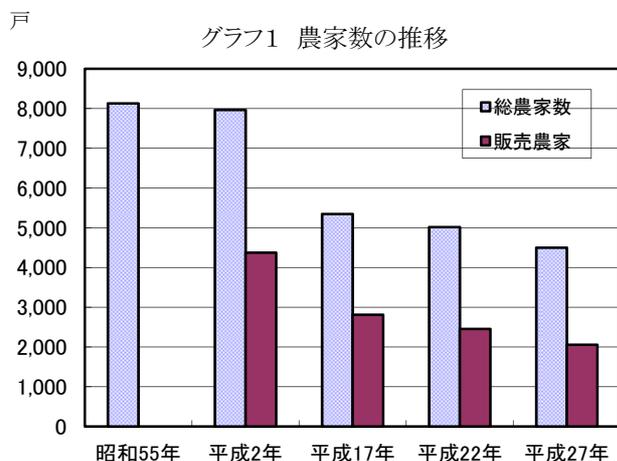
[出典 農林業センサス]

【表2：農家人口の推移】

単位：人

調査年	昭和55年	平成2年	平成17年	平成22年	平成27年	17/27比較
農家世帯員数	36,768	30,574	21,584	—	—	—
農業従事者数	24,436	15,034	9,554	7,662	5,953	△37.7%
農業就業人口	14,359	11,518	4,756	4,005	3,722	△21.7%

[出典 農林業センサス]



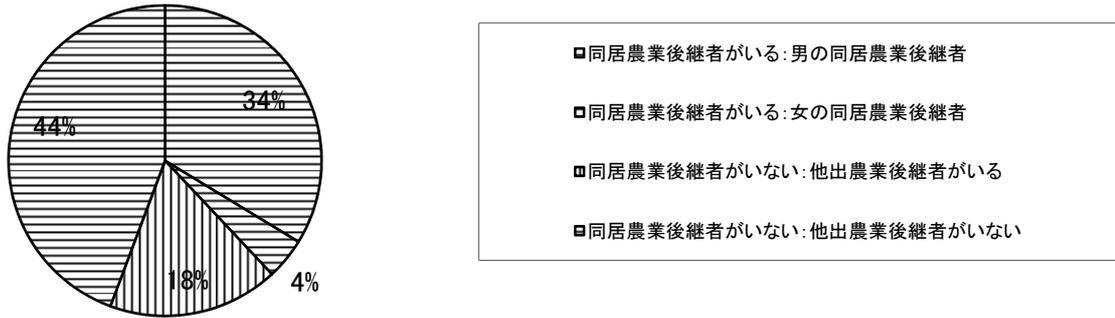
【表3：販売農家 農業後継者の有無別農家数】

単位：戸

同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
693	88	781	362	910	1,272	2,053

〔出典 農林業センサス 2015〕

グラフ3 農業後継者の有無別農家数

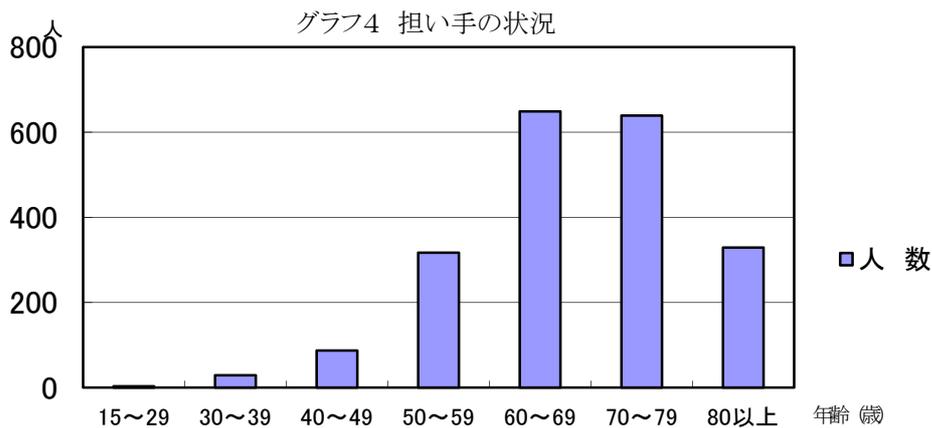


【表4：販売農家 担い手の状況（年齢別農業経営者数）】

単位：人

年齢	15～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	計
人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053

〔出典 農林業センサス 2015〕



## 2 他市と比較した農業の特徴

県内3市と比較して飯田市の特徴を分析します。

総世帯数と農家戸数の比較、総人口と農業就業人口を比較します。

世帯数と農家戸数を比較した農家率は11.9%で、他市に比べて多いとは言えませんが、農家人口率は3.7%で、従事する市民が多いという特徴がわかります。(表5)

経営耕地面積の規模別面積を比較してみます。

本市の1ha未満は、全体の55.7%(909ha)であり、伊那市12.7%、駒ヶ根市19.3%、上田市34.1%と、3市に比べ大きな割合であること、また、20ha以上が本市ゼロに対し、伊那市43.2%(1,672ha)、駒ヶ根市29.4%(405ha)、上田市17.2%(480ha)であり、小規模農家が大半を占める本市農業の経営の実態がわかります。(表6、グラフ6)

経営耕地面積の規模別経営体数をみても同様の傾向があり、本市の農業経営の特徴がわかります。(表7、グラフ7)

農産物売上1位の出荷先別経営体数を比較してみると、農協への出荷が本市64.0%(1,285経営体)に対し、伊那市86.4%(1,160)、駒ヶ根市72.4%(506)、上田市74.9%(1,574)と格段に少なく、農協以外への集出荷では本市9.0%に対し、伊那市1.9%(26)、駒ヶ根市5.2%(36)、上田市3.1%(66)であり、出荷先として農協だけに依存していない本市の農家が多いことがわかります。(表8、グラフ8-1)

次に、販売農家の中で、農産物販売金額のうち主位部門の販売金額が8割以上の経営体(単一経営経営体)の主とする販売農産物の状況を3市と比較してみます。

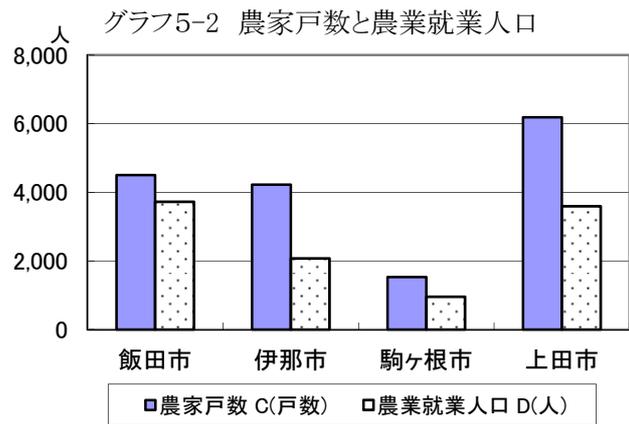
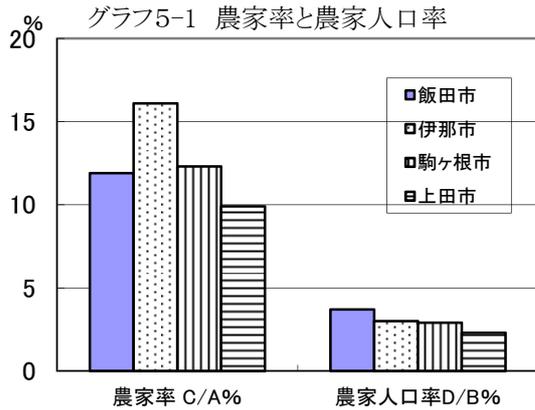
本市では、単一経営の経営体全体(1,437)のうち、稲作20.5%(295)、果樹42.7%(858)であり、伊那市は全体(919)のうち、稲作68.0%(625)、果樹4.6%、駒ヶ根市は全体(524)のうち、稲作75.6%(396)、果樹4.4%、上田市は全体(1,555)のうち、稲作56.0%(871)、果樹19.1%(402)です。本市が他市に比べ果樹の出荷・販売が非常に多く、米が少ない農業形態の現状がわかります。(表9、グラフ9)つまり、農協出荷が少ないのは、果樹の販売が非常に大きく、消費者への直接販売や直売所での販売が多いことがその一因ではないかと推測されます。

農業経営体の現状を見ると大部分(全体の98.0%)の農家が法人化されていないことが分かります。この傾向は他の3市も同様です。(表10、グラフ10)

【表 5：総世帯数・総人口に対する農家数・農家人口、及び他市との比較】

都市名	世帯数 A (世帯)	人口 B(人)	農家戸数 C(戸数)	農業就業人口 D(人)	農家率 C/A%	農家人口率 D/B%
飯田市	37,694	101,581	4,502	3,722	11.9	3.7
伊那市	26,231	68,271	4,226	2,071	16.1	3.0
駒ヶ根市	12,437	32,759	1,533	955	12.3	2.9
上田市	62,696	156,827	6,187	3,590	9.9	2.3

[出典 国勢調査 2015・農林業センサス 2015]



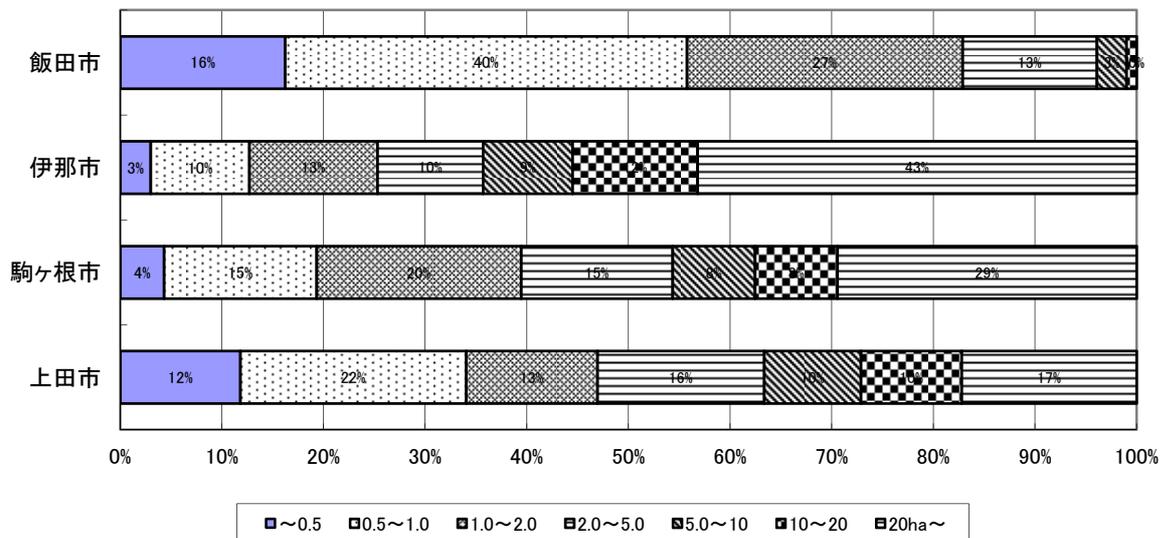
【表 6：経営耕地面積規模別面積】

単位：ha

都市名	計	～0.5	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～5.0	5.0～10	10～20	20ha～
飯田市	1,631	265	644	442	216	48	17	0
伊那市	3,874	118	375	490	403	340	477	1,672
駒ヶ根市	1,376	59	207	276	205	112	111	405
上田市	2,797	331	622	362	458	267	277	480

[出典 農林業センサス 2015]

グラフ6 経営耕地面積規模別面積



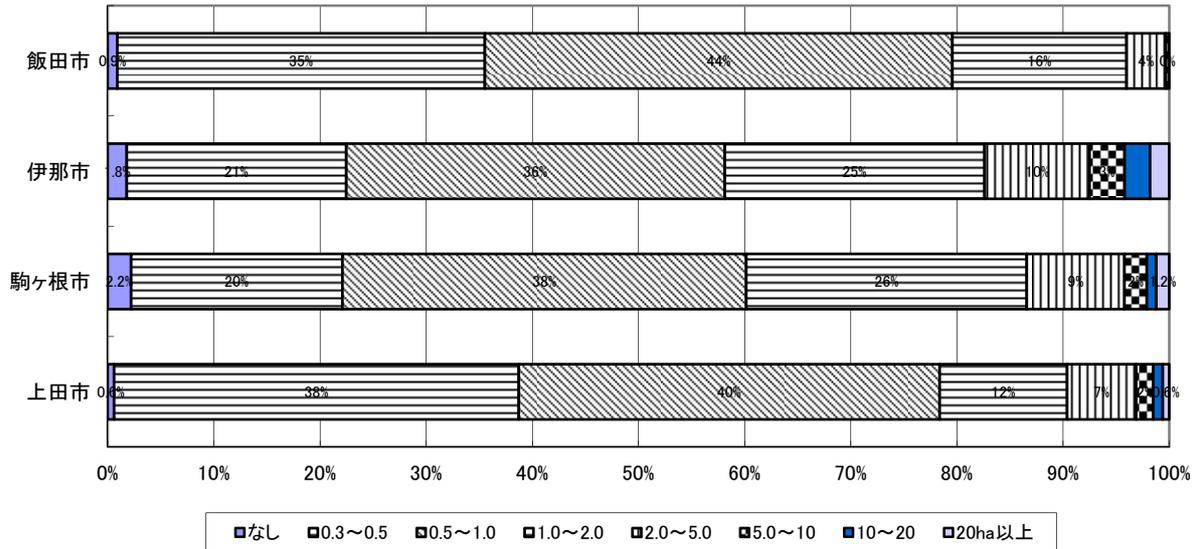
【表7：経営耕地面積規模別経営体数】

都市名	計	なし	～0.5	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～5.0	5.0～10	10～20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
伊那市	1,472	26	304	525	361	145	48	36	27
駒ヶ根市	760	17	151	289	201	70	16	7	9
上田市	2,339	15	891	927	280	153	38	21	14

単位：戸

〔出典 農林業センサス 2015〕

グラフ7 経営耕地面積規模別経営体数



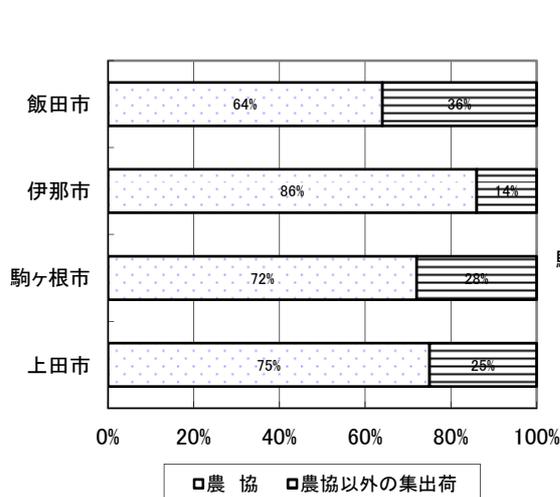
【表8：農産物売上1位の出荷先別経営体数】

都市名	販売経営体	農協	農協以外の集出荷	卸売市場	小売業者	食品製造・外食産業	消費者直接販売	その他
飯田市	2,009	1,285	181	185	40	23	247	48
伊那市	1,343	1,160	26	26	16	5	92	18
駒ヶ根市	699	506	36	19	29	3	84	22
上田市	2,102	1,574	66	42	31	18	311	60

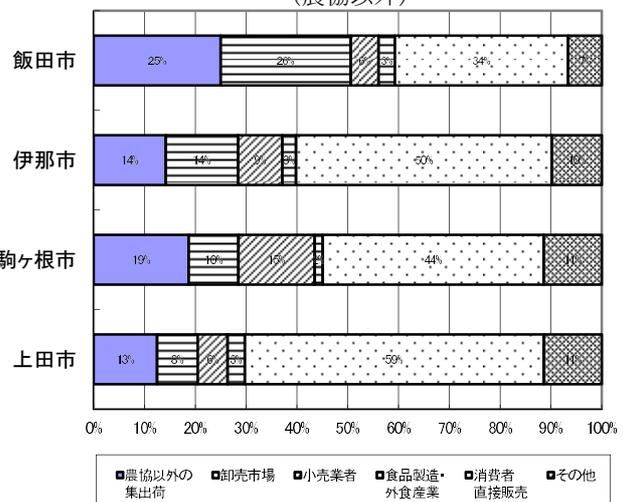
単位：経営体

〔出典 農林業センサス 2015〕

グラフ8-1 農産物売上1位の出荷先割合



グラフ8-2 農産物売上1位の出荷割合 (農協以外)



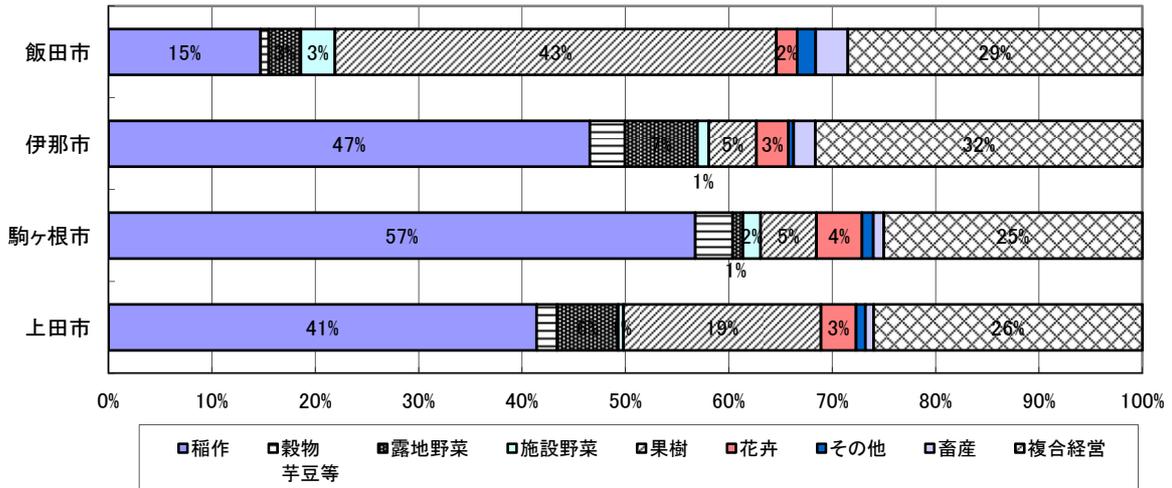
【表 9：農業経営組織別経営体数】

単位：経営体

都市名	販売 経営体	単一経営体（主位部門の販売金額が8割以上）									複合 経営
		計	稲作	穀物芋 豆等	露地野菜	施設野菜	果樹	花卉	畜産	その他	
飯田市	2,009	1,437	295	16	62	66	858	41	63	36	572
伊那市	1,343	919	625	46	94	15	62	42	28	7	424
駒ヶ根市	699	524	396	25	7	12	38	31	7	8	175
上田市	2,102	1,555	871	41	124	10	402	72	16	19	547

〔出典 農林業センサス 2015〕

グラフ9 農業経営組織別経営体数割合



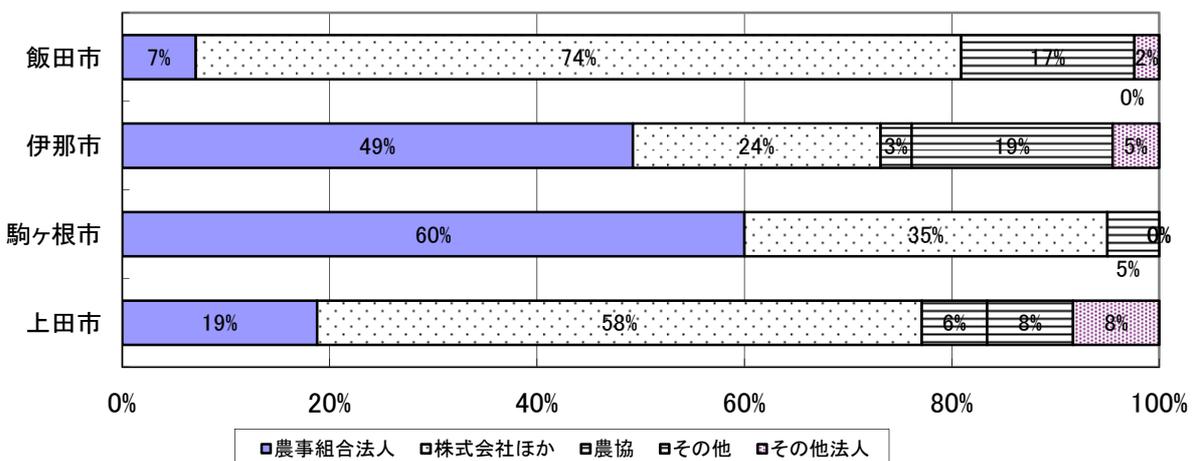
【表 10：組織形態別経営体数】

単位：経営体

都市名	計	法人化している				その他 法人	法人化していない	
		農事組 合法人	株式会 社ほか	農協	その他		家族 経営体	家族 経営体
飯田市	2,122	3	31	7	1	1	2,079	2,078
伊那市	1,472	33	16	2	13	3	1,405	1,404
駒ヶ根市	760	12	7	1	0	0	740	726
上田市	2,339	9	28	3	4	4	2,291	2,284

〔出典 農林業センサス 2015〕

グラフ10 法人化している農業経営体数割合



## 【定義】

- 農業経営体とは、  
農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。
  - ア 経営耕地面積が 30 アール以上の規模の農業
  - イ 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農業経営体の外形基準以上の規模の農業
    - ①露地野菜作付面積 15 アール
    - ②施設野菜栽培面積 350 平方メートル
    - ③果樹栽培面積 10 アール
    - ④露地花き栽培面積 10 アール
    - ⑤施設花き栽培面積 250 平方メートル
    - ⑥搾乳牛飼養頭数 1 頭
    - ⑦肥育牛飼養頭数 1 頭
    - ⑧豚飼養頭数 15 頭
    - ⑨採卵鶏飼養羽数 150 羽
    - ⑩ブロイラー年間出荷羽数 1,000 羽
    - ⑪その他：調査期日前 1 年間における農業生産物の総販売額 50 万円に相当する事業の規模
  - ウ 農作業の受託の事業
- 個人経営体とは
  - ・農業経営体のうち、世帯単位で事業を行う者をいう。
- 法人経営体とは
  - ・「農業経営体」の規定のうち、法人化して事業を行う者をいう。（一戸一法人は含まれる。）
- 農業経営体のうち家族経営
  - ・「農業経営体」のうち個人経営体（農家）及び法人経営体のうち一戸一法人をいう。
- 農家
  - ・調査期日現在で、経営耕地面積が 10a 以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が 10a 未満であっても、調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 15 万円以上あった世帯をいう。  
「農業を営む」とは、営利又は自家消費のために耕種、養畜、養蚕、又は自家生産の農産物を原料とする加工を行うことをいう。
- 販売農家
  - ・経営耕地面積が 30a 以上又は調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円以上の農家をいう。
- 自給的農家
  - ・経営耕地面積が 30a 未満かつ調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家をいう。
- 農事組合法人
  - ・農業協同組合法に基づき農業生産について協業を図ることにより、共同の利益を増進することを目的として設立された法人をいう。

- 株式会社
  - ・ 商法に基づく株式会社の組織形態をとっているものをいう。
- 合名・合資会社
  - ・ 商法に基づく合名会社と合資会社の組織形態をとっているものをいう。
- 相互会社
  - ・ 保険業法に基づき、加入者自身を構成員とし、お互いが構成員のために保険業務を行う団体をいう。
- 農協
  - ・ 農業協同組合法に基づく農業協同組合、農協の連合組織が該当する。
- 単一経営経営体
  - ・ 農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が 8 割以上の経営体をいう。
- 複合経営経営体
  - ・ 農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が 6 割未満の経営体をいう。
- 経営耕地面積
  - ・ 農業経営体が経営する耕地（田、畑及び樹園地の計）の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたもの（自作地）に借り入れている耕地（借入耕地）を加えたものをいう。
- 専業農家
  - ・ 世帯員の中に兼業従事者（調査期日前 1 年間に 30 日以上雇用兼業に従事した者又は調査期日前 1 年間に販売金額が 15 万円以上ある自営兼業に従事した者）が 1 人もいない農家をいう。
- 兼業農家
  - ・ 世帯員の中に兼業従事者が 1 人以上いる農家をいう。
- 農業就業人口
  - ・ 自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前 1 年間に「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」のことをいう。

### 3 生産する 農畜産物の特徴

飯田市と下伊那郡の地域（以下「南信州地域」）の農畜産物の販売額から特徴等について分析します。

南信州地域と長野県の農畜産物の生産額を比較すると、この地域の特徴がよくわかります。（図1）

長野県は野菜の割合が非常に高い状況です。南信州地域は、果樹と畜産の割合が大きい農業構造となっています。この構造は、米の転作が進んだ1970年代中頃以降ほぼ変わっていない状況です。

気象状況は、農産物の生産・出荷に大きな影響があります。果樹の中では加工農産物（市田柿）の割合が大きい現状で、その販売額の増減は、生産や加工において気候等の影響が非常に大きい市田柿の出荷額に大きく左右される状況です。

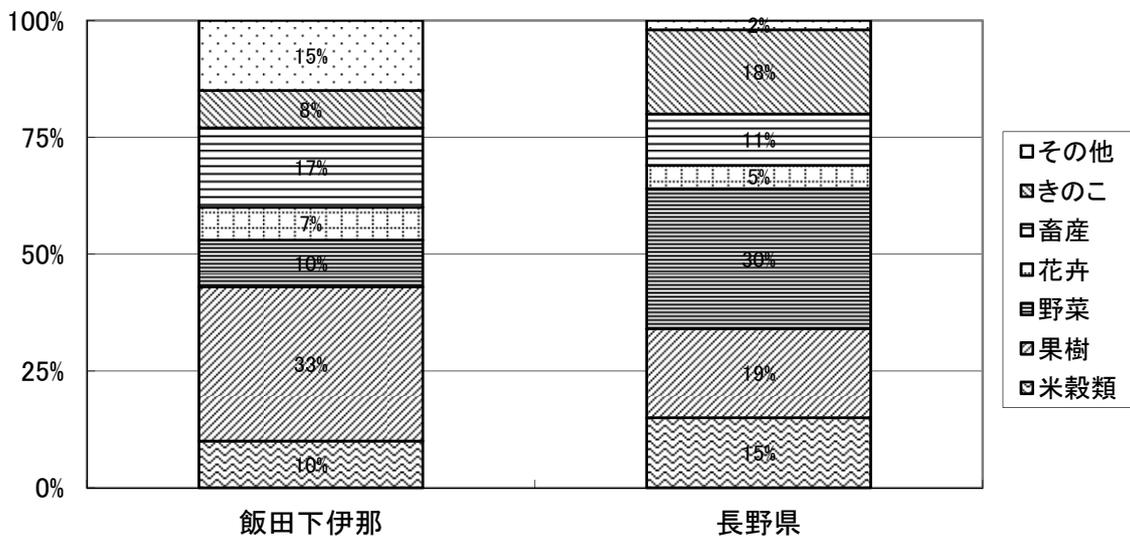
農畜産物の販売額は、全体として微減傾向が続いていますが、野菜や花卉については微増傾向であることがわかります。（表11・図2）

畜産は、飼料の高止まり、素牛（子牛）の高騰が続いており、畜産農家の経営の厳しさは続いている状況にあり、販売額の減少傾向が続いています。

温暖地域の植物の北限、寒冷地域の南限と言われる植生の特性など、標高差を生かし気候条件の良い南信州地域では、大規模な産地と比較して少量ではあるが多品種の農産物が栽培されており、各農家や民間事業者（法人）は、付加価値の高い販売にも挑戦されており、表8から読み取れるように、消費者への直接販売をはじめ、多様な流通・販売ルートを開発しながら農業経営を展開されていることがわかります。

農畜産物の販売額を維持・拡大し、産地として強化していくことが必要だと考えます。

図1：農畜産物生産額の比較構成

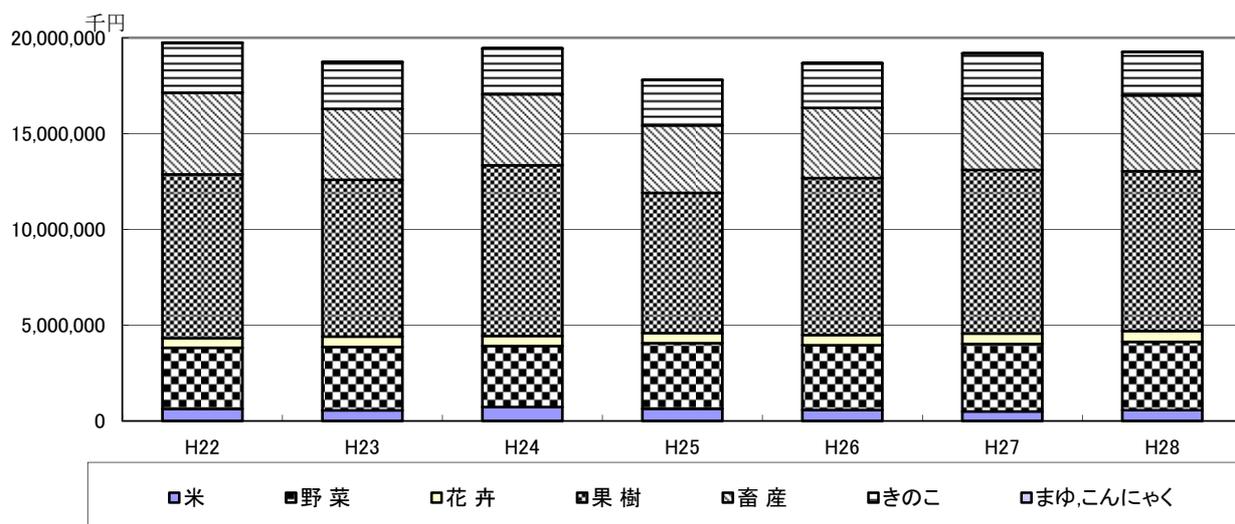


【表 11：南信州地域の農畜産物販売額の推移（農業協同組合等の販売額）】

単位：千円

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	構成比	前年比
米	633,837	559,122	733,882	640,871	568,733	494,811	565,659	2.9%	114.3%
野菜	3,187,957	3,302,039	3,182,432	3,424,309	3,388,956	3,524,143	3,567,682	18.5%	101.2%
花卉	503,088	540,765	519,510	524,736	527,306	545,069	564,104	2.9%	103.5%
果樹	8,544,095	8,187,598	8,905,948	7,314,690	8,193,038	8,538,105	8,341,712	43.3%	97.7%
畜産	4,271,137	3,696,847	3,709,172	3,523,388	3,668,164	3,726,543	3,954,868	20.5%	106.1%
きのこ	2,594,046	2,443,122	2,395,104	2,363,961	2,323,482	2,355,592	2,265,484	11.8%	96.2%
特産 <small>まゆ,こんにやく</small>	20,140	20,813	17,249	17,986	17,332	10,488	10,847	0.1%	103.4%
合計	19,754,300	18,750,306	19,463,297	17,809,941	18,687,011	19,194,751	19,294,456	100.0%	100.5%

図 2：農畜産物販売額の推移



○農畜産物の特徴

南信州地域は、水と緑に恵まれた自然豊かな中山間地域で、温暖多雨の気候、天竜川の河岸段丘を中心に果樹や野菜の生産や畜産が盛んに行われています。

果樹は、リンゴやナシを中心に栽培され、中京・関西方面など市場出荷とともに、観光農園や産直・宅配など消費者と直接つながる取引が行われています。

干し柿に加工された市田柿は、多様な流通販売が展開され、全国一の干し柿としてのブランドが確立されてきました。

トマト、きゅうりなどの果菜類やシクラメンなどの花きの生産、ブランド構築を目指す良質な肉用牛（南信州牛）や肉用豚の生産なども盛んで、少量多品種の農畜産物の産地となっています。

#### 4 リニア時代の到来 など時代背景の 変化に向けた対応

リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の開通等、高速交通網の整備により、移動時間の短縮と利便性の向上が見込まれ、東京をはじめとする大都市圏と南信州地域のつながりが強まります。

田園回帰の流れが定着し、若者や子育て世帯でも田舎暮らし志向が高まりを見せています。

この地域には、豊かな自然があり、農業に関わって暮らす人々の営みによって育まれる農山村の文化・景観、さまざまな農畜産物などの地域資源があります。

地域資源を守り育て、それを活かすことにより、インバウンドツーリズムも視野に入れた都市農村交流へ進展させるとともに、二地域居住や移住・定住に結び付けることが期待されています。

こうした動きと農業の振興、農村の活性化は密接に関連しており、関係者が連携して取り組む必要があります。

## Ⅲ 農業振興の方向性

### 1 飯田市農業の振り返り

#### (1) 実態から見える特徴

当市農業は、経営耕地面積規模の小さい農家が多く、農家数の実態から多くの兼業・自給的農家によって支えられてきたことが分かります。

また、生產品目からは狭い農地を有効に活用して経営の多角化が進んでおり、市内16地区を見ると、生產品目や地域資源を活かした農家民泊等のグリーンツーリズムの取組など地区ごとに特徴や違いがあることが分かります。

#### (2) 実践に見る特徴

経営規模の小さい農家が多く農家人口比率が高いことから、地域と農業が密接に関わり合っており、農業者のみでなく地域に暮らす全ての人が物や知恵を出し合い自ら地域を運営していく「集落複合経営」に取り組んできました。

その精神を引き継ぐ事業として、遊休農地の活用、農産物の加工など地域農業の特色を活かした取組が行われ、地域づくりに大きく関わってきています。

また、JA等の生産団体や農業委員、行政等の連携組織として「飯田市農業振興センター」を設立し、多様化する課題解決に向けて取り組んできています。

### 2 農業振興の方向性

産業としての農業と共に、農村風景などを資源として地域の魅力を高めながら地域づくりに取り組んできました。このような状況を踏まえ、これからの農業振興の方向性を次のとおり整理し取組を進めていきます。

#### (1) 地域経済を支える農業

ブランド化した品目を中心に、多種多品目で品質の高い農畜産物を生産する産地として持続していることを目指します。そのためには、「所得向上」により魅力ある農業を実現していくことで担い手を確保し、生産される農畜産物のブランド化等を推進し、農家が生産活動を継続していける産業としての農業振興に取り組めます。

#### (2) 農業を活かした地域づくり

社会環境の大きな変貌に対し、地域自らが考え自ら実践する取組として、農業者をはじめ地域が一体となった農業を活かした地域づくりを目指します。

農業の営みや農家の生活から育まれる自然景観や生活文化等の地域資源を活かした交流事業の取組や地域活動を通じて、魅力ある地域づくりと地域の活性化につなげていくための農業振興に取り組めます。

### 3 農業振興施策の展開の考え方

農業の担い手の減少など様々な課題を解決し、産業としての農業と集落機能の維持を目的とした地域政策を展開していくためには、それぞれの地域において今後の農業振興のあり方を協議するなかで地域の将来ビジョンを検討していく必要があります。

担い手の確保等、共通課題の解決に向けた取組と共に、農業者や地域等の課題にあわせ支援できるボトムアップ型の農業振興施策を展開していきます。

## IV ビジョンの基本構想、基本的方向

### 1 キャッチフレーズ

『誰もが考え実践できる、特色ある地域農業の実現』

### 2 基本構想（11年間）

#### 目指す農業・地域の姿

#### ●多様な担い手により持続する農業

- ・認定農業者や農業法人などの意欲ある農業者が、安定して収益性の高い農業経営を行っています。
- ・幅広い年代で、地域住民やIターン者が、農業を継いだり新たに就農したりして定着しています。
- ・兼業農家や、趣味や生きがいとして農業に取り組む市民も多く、大勢の市民が農業に関わって活躍しています。

#### ●多種多品目の農畜産物を生産する産地

- ・高品質で安全・安心な農畜産物が生産され、日本中の消費者に喜ばれています。
- ・こだわりをもってつくられた農畜産物が、産地ブランドとして認知され、高い評価を受けています。海外に輸出される農畜産物も増えています。
- ・他業種・他産業と連携して、付加価値の高い農畜産物がつくられ、新しい特産品となっています。

#### ●生産基盤の維持により保全される多面的機能

- ・農地、水路、農道などが適切に管理され、農業生産に役立っています。
- ・地域住民が取組によって、農地が保全・活用され、水路・農道などの機能が維持されています。
- ・防災、景観育成、生物多様性の保持など農業の多面的機能が発揮されています。

#### ●16 地区の個性が輝く地域農業

- ・各地区で特性と個性を活かした地域づくりが展開されています。
- ・子どもから高齢者まで多くの市民が農業を身近なものとして感じ、農ある暮らしを楽しんでいます。
- ・農業や農村文化をベースとした都市農村交流が各地区で行われています。

#### ●多様な主体が協働して推進する農業振興

- ・農業者、生産団体、行政が一堂に会して目指す姿を共有し、それぞれに役割をもって連携・協力した取組を進めています。

### 3 基本的方向（4年間）

#### 基本目標

基本目標	
1	後継者・新規就農者の確保と育成
2	地域農業の中心となる担い手の支援
3	多様な担い手の確保と育成
4	消費者に信頼される農畜産物の生産
5	ブランド力の強化と新たなマーケットへの展開
6	他産業と連携した高付加価値化
7	域産域消による地域経済の活性化
8	持続的な営農を支える生産基盤の整備と保全
9	荒廃農地の発生防止と農地の有効利用
10	地域ぐるみで行う多面的機能の維持・増進
11	地域資源を活かした交流の推進
12	協働による推進体制の再構築と機能の強化

### 4 基本目標ごとの戦略的な展開

#### 基本目標 1

後継者・新規就農者の確保と育成

##### <戦略（考え方）>

- 後継者、新規就農者が栽培技術など農業経営に必要な知識・技能を習得し、農業経営を安定させ、定着できるよう取り組みます。
- 地元と連携して、Iターン者が地域に定着できるよう取り組みます。

##### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
新規就農者数	21人 (平成28年度)	27人 (平成32年度)

※新規就農者は、後継者、Iターン、新規参入

#### 基本目標 2

地域農業の中心となる担い手の支援

##### <戦略（考え方）>

- 認定農業者をはじめ、意欲ある農業者が、農家の目標となるモデル的な経営者となるよう取り組みます。
- 経営安定と規模拡大に向け、労働力の確保、機械や施設整備による省力化や効率化を推進します。

##### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
認定農業者数	212人 (平成28年度)	240人 (平成32年度)

※3月末現在の人数

### 基本目標 3

多様な担い手の確保と育成

#### <戦略（考え方）>

- 兼業農家、定年帰農者、趣味・生きがいの農業など、さまざまな農業者により地域農業を守ります。
- 農業の大切さが理解され、農業をやってみようと思う市民が増えるよう、講座等の開催や、学習活動への支援を行います。

#### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
販売農家数（兼業）と自給的農家の合計	3,831 戸 （平成 27 年度）	3,600 戸 （平成 32 年度）

### 基本目標 4

消費者に信頼される農畜産物の生産

#### <戦略（考え方）>

- 推奨品目の導入、生産施設整備等を支援し、安全・安心で品質の高い農畜産物の生産力向上に取り組みます。
- 農作業の省力化、生産性向上のため、IoT 等の新技術の活用を研究します。
- 野生鳥獣、自然災害の影響を最大限抑制する取り組みを進めます。

#### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
農産物販売額	19,294,000 千円 （平成 28 年度）	20,000,000 千円 （平成 32 年度）

※飯田下伊那の合計額

### 基本目標 5

ブランド力の強化と新たなマーケットへの展開

#### <戦略（考え方）>

- ブランド推進体制と情報発信力を強化し、海外での販売展開も視野に入れたマーケティング活動に取り組みます。
- 次なるブランド化を推進するとともに、産地意識の醸成、生産・消費の拡大に取り組みます。

#### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
市田柿出荷量	2,411 トン （平成 28 年度）	2,500 トン （平成 32 年度）

※市田柿ブランド推進協議会調べによる出荷量

### 基本目標 6

他産業と連携した高付加価値化

#### <戦略（考え方）>

- 農業者自身が加工、流通、販売にも主体的に関わる 6 次産業化等、高付加価値を生み出す取組の事業化に向けて支援します。

＜進捗状況確認指標＞

指標名	基準値	目標値
6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	3件 (平成28年度)	4件 (平成32年度)

基本目標7

域産域消による地域経済の活性化

＜戦略（考え方）＞

- 農業者、飲食店、ホテル、直売所など地場産業を担う農商工業者が連携した域産域消活動を推進します。
- 食と農の循環型社会づくりのモデルである堆肥センターの取組を継続して推進します。

＜進捗状況確認指標＞

指標名	基準値	目標値
域産域消の食育店認定数	19店舗 (平成28年度)	25店舗 (平成32年度)
学校給食に占める地元農産物主要10品目※の割合	42.6% (平成28年度)	46.0% (平成32年度)

※ニンジン、ホウレンソウ、コマツナ、ピーマン、トマト、キャベツ、キュウリ、タマネギ、ジャガイモ、アスパラガス

基本目標8

持続的な営農を支える生産基盤の整備と保全

＜戦略（考え方）＞

- 将来も保全すべき農地の区域を明確にし、優良農地の保全、用水路や農道の維持管理・整備を推進します。
- 耕作条件の改善に向けた基盤整備に取り組みます。

＜進捗状況確認指標＞

指標名	基準値	目標値
農振農用地区域の面積	2,565.3ヘクタール (平成28年度)	2,540ヘクタール (平成32年度)

基本目標9

荒廃農地の発生防止と農地の有効利用

＜戦略（考え方）＞

- 担い手への集積等、農地の流動化に取り組みます。
- 地域住民が農業に親しむ場として、市民農園、レクリエーション農園の開設と運営を支援します。

＜進捗状況確認指標＞

指標名	基準値	目標値
貸し付けられた農地の面積	826ヘクタール (平成28年度)	854ヘクタール (平成32年度)

※農業経営基盤強化促進法、農地中間管理法による貸借の合計面積

## 基本目標 10

地域ぐるみで行う多面的機能の維持・増進

### <戦略（考え方）>

- 多面的機能支払や中山間地域農業直接支払等による、地域が主体となった農地の保全・活用の取組を支援します。

### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
多面的機能支払、中山間地域農業直接支払の対象農地面積	575.4 ヘクタール (平成 28 年度)	585 ヘクタール (平成 32 年度)

## 基本目標 11

地域資源を活かした交流の推進

### <戦略（考え方）>

- 特色ある農業と、農業を基盤に育まれた民俗芸能や伝統的な食文化、景観などの地域資源を継承し、それらを活かして人を呼び込むことにより、グリーンツーリズム等の都市農村交流に取り組みます。
- 交流から二地域居住や定住へつなげるよう、農をベースにした魅力ある地域づくりを推進します。

### <進捗状況確認指標>

指標名	基準値	目標値
ワーキングホリデーの受入農家実数	42 戸 (平成 28 年度)	45 戸 (平成 32 年度)
都市農村交流人口※	60,005 人 (平成 28 年度)	64,000 人 (平成 32 年度)

※「都市農村交流活動実施状況調査（長野県）」による

## 基本目標 12

協働による推進体制の再構築と機能の強化

### <戦略（考え方）>

- 農業振興センターは、協働で取り組む体制を再構築し、品目や課題ごとに関係者が議論して企画・立案と事業の進行管理を行います。
- 地区農業振興会議の活性化に向け、農業振興センター事務局、農業振興委員、地域自治組織等が連携して、地区での議論や取組を牽引していきます。

## V 協働による農業振興施策の推進

### 1 事業推進の考え方

農業を取り巻く様々な課題は、行政だけで解決できるものではなく、生産団体だけで、また一事業体だけで解決できるものではありません。行政（県・市）、農協、農業関係団体、飯田市農業振興委員（農業委員・農地利用最適化推進委員）と農業者が協働していくための体制づくりも重要になってきます。

本市では、農業関係団体や地域の農業者等と一緒にあって農業振興を進めていく組織として、農業振興センターを設置し、「農業を活かした地域づくり」を地域の農業者や自治組織、農業関係代表者等の皆さんと協議して活動してきています。

農業振興ビジョンを実現していくため、関係機関（者）と基本構想「目指す農業・地域の姿」を共有し、企画・立案し、実践していく組織としての機能強化を図り、それぞれが持つマンパワーを結集し、得意分野で役割を発揮しながら、地域の農業振興に取り組みます。

農業振興センターは、そうした取組を推進する中心的な役割を担います。

### 2 農業振興センターの役割と機能強化

農業振興センターは、「地域の問題を、地域自らが考え自ら実践する」という飯田市の地域づくりの理念を基本にして、飯田市の農業振興を「行政、生産者団体、農業委員会等の関係機関と一緒にあって進めていくための組織」として、平成12年に設立されました。

このビジョンの推進にあたり、毎年度定める1年間の具体的な取組は、農業振興センターが、農業者、生産者団体、地区農業振興会議等の思いを受け止め、企画・立案し、実践することとします。

担い手の確保等の共通課題については、農業振興センターが調査、研究し、関係者と連携して解決方法を企画・立案します。

毎年度の具体的な取組を評価し、進行管理を行って、取組の効果をより高めていきます。

農業者や地区の思いを受け、一緒になって取り組む「伴走型支援」を進めます。

生産団体等が策定する計画との整合性を取りながら取り

### 3 地区農業振興会議 の活動支援

組むため、農業振興センターを構成する関係機関の協働体制を再構築します。

また、関係機関とスクラムを組んで企画・立案し、実践する体制を強化するため、農業課・農業委員会事務局組織を再編します。

農業振興施策の展開においては、事務局職員を配置しているJAみなみ信州と飯田市が事業を牽引していけるよう、事業推進における構成団体のそれぞれの役割を明確にして取組を進めます。

農業振興センターでは、市内16地区（旧市5地区は1地区として組織）に、地区農業振興会議を設置しています。

地区農業振興会議は、地域の農業振興を担う核として活動しており、市農業課及び農業委員会事務局の職員並びにJAみなみ信州各支所、事業所長及び営農課職員が各地区の事務局を務めています。

これまでも、飯田市は、各地区で展開される農業振興・地域活性化の取組を重視してきました。地域農業の将来ビジョンを描き実践するには、地区の農業者や自治組織役員をはじめとした地域住民による話し合いの場や学習・研修機会を設けることがより重要となります。

農業振興センターが地区の思いを聞き、地区の話し合い等の場にしっかりと入ることで、「伴走型支援」で地域の取組を支えています。

農業委員会法の改正により、担い手への農地集積、新規参入といった「農地利用の最適化」の業務が農業委員・農地利用最適化推進委員の業務として位置づけられたことを踏まえ、市は、一緒に取り組んでいくため両委員に農業振興委員を委嘱しました。

担い手や農地の現状を把握し、農業振興委員を中心に地区での話し合いを進めていきます。

◎ワーキングホリデー飯田の実施状況

【表2：ワーキングホリデー飯田の受入れ実績】 (単位：人)

受入農家数		平成 29 年 4 月現在 121 戸 (前年 119 戸)	
H28 参加者男女構成比		男性 194 人 (53.0%)	女性 172 人 (47.0%)
H26 参加者 年齢別 構成比	10代	11	5
	20代	40	30
	30代	10	15
	40代	9	19
	50代	24	20
	60代以上	100	83
受入実績 (市農業課を経由した公式な 受入れのみ)		平成 10 年度	32 人 延べ 96 日
		11 年度	187 人 延べ 888 日
		12 年度	219 人 延べ 909 日
		13 年度	151 人 延べ 618 日
		14 年度	243 人 延べ 980 日
		15 年度	291 人 延べ 1,409 日
		16 年度	297 人 延べ 1,357 日
		17 年度	324 人 延べ 1,536 日
		18 年度	467 人 延べ 2,181 日
		19 年度	560 人 延べ 2,578 日
		20 年度	560 人 延べ 2,572 日
		21 年度	492 人 延べ 2,211 日
		22 年度	452 人 延べ 1,918 日
		23 年度	424 人 延べ 1,897 日
		24 年度	455 人 延べ 1,880 日
		25 年度	382 人 延べ 1,619 日
26 年度	357 人 延べ 1,578 日		
27 年度	400 人 延べ 1,894 日		
28 年度	366 人 延べ 1,609 日		
累 計		6,659 人	

\*年齢が不明な者がいるため、数値の合計が一致しない。

\*ボランティア保険の加入有効期限が年度末までのため、リピーターで保険登録済みの人に対して、農家が直接で連絡を取る場合があり、その場合の数字は含まれていない。

【表3：過去7年間の新規登録者数の推移】

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
新規者数	133 人	132 人	137 人	101 人	97 人	110 人	80 人
割 合	29.4%	31.1%	30.1%	26.4%	27.2%	27.5%	21.9%

\*割合：(各年新規参加者数) / (各年述べ参加者数)

## 飯田市版 営農モデル (事例紹介)

(下伊那地区就農促進協議会 調査 就農事例集より抜粋)

### 【飯田市 就農事例1】 果樹栽培

- ・就農年月日：平成23年1月
- ・出身地：関東
- ・作目・規模：リンゴ50a、桃20a、梨20a、市田柿20a
- ・労働力：2人(本人、妻)
- ・販売方法：JA出荷50%、市場40%、個人顧客10%
- ・販売額：450万円(就農2年目)
- ・農業研修：ワーキングホリデー飯田80日 ⇒ 里親研修3年
- ・農地：就農時は、里親農家の斡旋により70a  
就農後は、栽培を依頼され110aにまで増加
- ・住居：研修中「市営住宅」→ 就農後「空家(賃貸)」
- ・就農資金：長野県農業担い手育成基金研修費助成、
- ・就農資金：青年就農給付金、経営体育成支援事業、  
飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：SS、乗用モア、高所作業車、軽トラック、運搬車、トラクタ、  
柿干しパイプハウス2棟、柿剥き機
- ・経営の特徴：果樹の多品目の組合せによる作業分散と販売の長期化を図る果樹複合経営。

### 【飯田市 就農事例2】 果樹栽培

- ・就農年月日：平成23年4月
- ・出身地：関東
- ・作目・規模：リンゴ60a、桃15a、市田柿15a
- ・労働力：2人(本人、妻)
- ・販売方法：JA出荷50%、個人顧客等50%
- ・販売額：570万円(就農2年目)
- ・農業研修：ワーキングホリデー飯田3週間 ⇒ 里親研修3年
- ・農地：就農時はNPO法人みどりの風のモデル圃場を継承。  
就農後は、地元からの紹介により農地を増やした。
- ・住居：研修中「市営住宅」→ 就農後「空家」
- ・就農資金：青年就農給付金、経営体育成支援事業、  
就農施設等資金、飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：乗用モア、高所作業車、動噴、軽トラック、  
柿干しパイプハウス、作業舎
- ・経営の特徴：果樹の多品目の組合せによる作業分散と販売の長期化を図る果樹複合経営。

### 【飯田市 就農事例3】果樹栽培

- ・就農年月日：平成25年1月
- ・出身地：東海
- ・作目・規模：リンゴ130a、梅30a
- ・労働力：2人（本人、妻、子供1人）
- ・販売方法：オーナー園・個人顧客90%、JA出荷5%、直売5%
- ・農業研修：ワーキングホリデー飯田30日 ⇒ 里親研修3年
- ・農地：里親からの紹介で確保
- ・住居：研修中から現在「市営住宅」
- ・就農資金：長野県農業担い手育成基金研修費助成、
- ・就農資金：青年就農給付金、経営体育成支援事業、  
飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：SS、乗用モア、軽トラック、農機具小屋
- ・経営の特徴：リンゴを主体とし、梅を組合せた果樹複合経営。

### 【飯田市 就農事例4】野菜栽培

- ・就農年月日：平成23年12月
- ・出身地：北陸
- ・作目・規模：雨よけトマト 26a
- ・労働力：2人（本人、雇用1人）
- ・販売方法：JA出荷70%、直売等30%
- ・販売額：300万円（就農1年目）
- ・農業研修：ワーキングホリデー飯田半年⇒ 里親研修2年
- ・農地：就農時はJA及び里親農家の紹介で確保。
- ・住居：研修中から現在、「空き家（借家）」
- ・就農資金：長野県農業担い手育成基金研修費助成、  
青年就農給付金、経営体育成支援事業、  
JA資金、飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：パイプハウス、動噴、軽トラック、トラクタ（借用）
- ・経営の特徴：施設トマトによる単一経営。

### 【飯田市 就農事例5】野菜栽培

- ・就農年月日：平成23年4月
- ・出身地：県内
- ・作目・規模：きゅうり（雨よけ）10a、露地ネギ10a
- ・労働力：2人（本人、妻、子供1人）
- ・販売方法：JA出荷50%、独自の販売50%
- ・販売額：500万円（就農2年目）
- ・農業研修：里親研修2年
- ・農地：里親農家の紹介で確保。
- ・住居：両親の持家
- ・就農資金：長野県農業担い手育成基金研修費助成、  
青年就農給付金、飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：簡易雨よけ施設、育苗ハウス、管理機、動噴、軽トラック
- ・経営の特徴：夏秋きゅうりを主体とし、秋から冬にネギを組合せた野菜複合経営。

### 【飯田市 就農事例6】果樹栽培・受託作業

- ・就農年月日：平成24年6月
- ・出身地：飯田市
- ・作目・規模：梨53a、梅34a、水稲作業受託400a
- ・労働力：2人（本人、妻、）
- ・販売方法：JA出荷60%、受託作業40%
- ・販売額：800万円（就農4年目）
- ・農業研修：里親研修1年
- ・農地：市内他地区の借地。
- ・住居：持家
- ・就農資金：長野県農業担い手育成基金研修費助成、  
青年就農給付金、飯田市新規就農者支援事業
- ・主な資本装備：コンバイン、管理機、スピードスプレーヤー、軽トラック
- ・経営の特徴：果樹栽培と水稲の作業受託を合わせた複合経営。自家所有農地以外の農地借用による農業経営。

# 飯田地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	飯田		232	228 ▲ 1.7	226 ▲ 0.9	207 ▲ 8.4	▲ 9.2	▲ 10.8	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		飯田		152	145 ▲ 4.6	128 ▲ 11.7	104 ▲ 18.8	▲ 28.3	▲ 31.6
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 ▲ 8.0	2,570 ▲ 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		飯田		80	83 3.8	98 18.1	103 5.1	24.1	28.8
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	飯田	115	101 ▲ 12.2	93 ▲ 7.9	82 ▲ 11.8	77 ▲ 6.1	▲ 17.2	▲ 23.8	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	飯田	3	5 66.7	5 0.0	7 40.0	5 ▲ 28.6			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	飯田	—	60.4	62.1	64.6	67.7			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
飯田市	693	88	781	362	910	1,272	2,053
	—	—	38.0	—	—	62.0	—
飯田	31	2	33	22	49	71	104
	—	—	31.7	—	—	68.3	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
飯田	人数		1	6	20	39	25	13	104
	割合%	0.00	0.96	5.77	19.23	37.50	24.04	12.50	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
飯田	79	15	37	18	0	9		
	割合%	19.0	46.8	22.8	0.0	11.4	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
飯田	110	1	44	50	14		1		
	割合%	0.9	40.0	45.5	12.7	0.0	0.9	0.0	0.0

# 座光寺地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区 分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	座光寺		291	287 ▲ 1.4	275 ▲ 4.2	260 ▲ 5.5	▲ 9.4	▲ 10.7	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		座光寺		239	225 ▲ 5.9	205 ▲ 8.9	192 ▲ 6.3	▲ 14.7	▲ 19.7
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		座光寺		52	62 19.2	70 12.9	68 ▲ 2.9	9.7	30.8
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	座光寺	214	200 ▲ 6.5	191 ▲ 4.5	182 ▲ 4.7	174 ▲ 4.4	▲ 8.9	▲ 13.0	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	座光寺	2	5 150.0	7 40.0	7 0.0	11 57.1			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	座光寺	—	59.6	61.5	65.5	66.6			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
座光寺	83	11	94	18	80	98	192
	—	—	49.0	—	—	51.0	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
座光寺	人数		3	7	37	60	60	25	192
	割合%	0.00	1.56	3.65	19.27	31.25	31.25	13.02	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
座光寺	180	17	58	76	29	0	0	0
	割合%	9.4	32.2	42.2	16.1	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
座光寺	195	0	47	80	57	11	0	0	0
	割合%	0.0	24.1	41.0	29.2	5.6	0.0	0.0	0.0

# 松尾地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	松尾		362	346 ▲ 4.4	326 ▲ 5.8	298 ▲ 8.6	▲ 13.9	▲ 17.7	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		松尾		185	142 ▲ 23.2	117 ▲ 17.6	93 ▲ 20.5	▲ 34.5	▲ 49.7
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		松尾		177	204 15.3	209 2.5	205 ▲ 1.9	0.5	15.8
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	松尾	124	97 ▲ 21.8	76 ▲ 21.6	64 ▲ 15.8	53 ▲ 17.2	▲ 30.3	▲ 45.4	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	松尾	1	4 300.0	3 ▲ 25.0	2 ▲ 33.3	3 50.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	松尾	—	64.0	64.2	68.1	71.7			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
松尾	38	3	41	17	35	52	93
	—	—	44.1	—	—	55.9	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
松尾	人数		1	2	12	21	33	24	93
	割合%	0.00	1.08	2.15	12.90	22.58	35.48	25.81	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
松尾	54	17	25	9	3			
	割合%	31.5	46.3	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
松尾	97	2	49	38	7	1			
	割合%	2.1	50.5	39.2	7.2	1.0	0.0	0.0	0.0

# 下久堅地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサ数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	下久堅		416	371 ▲ 10.8	353 ▲ 4.9	328 ▲ 7.1	▲ 11.6	▲ 21.2	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		下久堅		195	148 ▲ 24.1	138 ▲ 6.8	112 ▲ 18.8	▲ 24.3	▲ 42.6
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		下久堅		221	223 0.9	215 ▲ 3.6	216 0.5	▲ 3.1	▲ 2.3
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	下久堅	183	148 ▲ 19.1	121 ▲ 18.2	117 ▲ 3.3	102 ▲ 12.8	▲ 15.7	▲ 31.1	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	下久堅	10	18 80.0	16 ▲ 11.1	16 0.0	12 ▲ 25.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	下久堅	—	63.4	64.8	69.2	67.8			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサ数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
下久堅	43	6	49	22	41	63	112
	—	—	43.8	—	—	56.3	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサ数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
下久堅	人数		5	5	18	34	33	17	112
	割合%	0.00	4.46	4.46	16.07	30.36	29.46	15.18	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
下久堅	105	14	34	25	24	8		
	割合%	13.3	32.4	23.8	22.9	7.6	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
下久堅	121	1	40	51	20	8	1		
	割合%	0.8	33.1	42.1	16.5	6.6	0.8	0.0	0.0

# 上久堅地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサ数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区 分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	上久堅		307	273 ▲ 11.1	257 ▲ 5.9	216 ▲ 16.0	▲ 20.9	▲ 29.6	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		上久堅		125	107 ▲ 14.4	92 ▲ 14.0	70 ▲ 23.9	▲ 34.6	▲ 44.0
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 ▲ 8.0	2,570 ▲ 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		上久堅		182	166 ▲ 8.8	165 ▲ 0.6	146 ▲ 11.5	▲ 12.0	▲ 19.8
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	上久堅	113	85 ▲ 24.8	74 ▲ 12.9	68 ▲ 8.1	58 ▲ 14.7	▲ 21.6	▲ 31.8	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	上久堅	18	15 ▲ 16.7	14 ▲ 6.7	11 ▲ 21.4	9 ▲ 18.2			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	上久堅	—	64.4	65.2	68.4	70.8			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサ数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
上久堅	14	2	16	19	35	54	70
	—	—	22.9	—	—	77.1	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサ数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
上久堅	人数		3	2	9	23	21	12	70
	割合%	0.00	4.29	2.86	12.86	32.86	30.00	17.14	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
上久堅	56	11	17	8	20			
	割合%	19.6	30.4	14.3	35.7	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
上久堅	70		31	26	7	6			
	割合%	0.0	44.3	37.1	10.0	8.6	0.0	0.0	0.0

# 千代地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	千代		299	269 ▲ 10.0	249 ▲ 7.4	219 ▲ 12.0	▲ 18.6	▲ 26.8	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		千代		142	108 ▲ 23.9	87 ▲ 19.4	77 ▲ 11.5	▲ 28.7	▲ 45.8
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		千代		157	161 2.5	162 0.6	142 ▲ 12.3	▲ 11.8	▲ 9.6
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	千代	120	102 ▲ 15.0	81 ▲ 20.6	70 ▲ 13.6	63 ▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 38.2	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	千代	17	11 ▲ 35.3	11 0.0	10 ▲ 9.1	13 30.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	千代	—	62.5	64.0	65.0	67.8			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
千代	23	3	26	12	39	51	77
	—	—	33.8	—	—	66.2	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
千代	人数		3	1	15	25	21	12	77
	割合%	0.00	3.90	1.30	19.48	32.47	27.27	15.58	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
千代	63	8	23	18	14			
	割合%	12.7	36.5	28.6	22.2	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
千代	81	1	24	36	14	6			
	割合%	1.2	29.6	44.4	17.3	7.4	0.0	0.0	0.0

# 龍江地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	龍江		354	336 ▲ 5.1	323 ▲ 3.9	298 ▲ 7.7	▲ 11.3	▲ 15.8	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		龍江		167	153 ▲ 8.4	123 ▲ 19.6	115 ▲ 6.5	▲ 24.8	▲ 31.1
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 ▲ 8.0	2,570 ▲ 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		龍江		187	183 ▲ 2.1	200 ▲ 9.3	183 ▲ 8.5	0.0	▲ 2.1
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	龍江	131	115 ▲ 12.2	102 ▲ 11.3	88 ▲ 13.7	93 ▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 19.1	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 ▲ 25.2	196 ▲ 9.5	151 ▲ 23.0	159 ▲ 5.3			
	龍江	13	11 ▲ 15.4	11 ▲ 0.0	9 ▲ 18.2	11 ▲ 22.2			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	龍江	—	61.1	64.8	64.9	66.6			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
龍江	53	3	56	20	39	59	115
	—	—	48.7	—	—	51.3	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
龍江	人数	—	1	8	14	38	42	12	115
	割合%	0.00	0.87	6.96	12.17	33.04	36.52	10.43	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
龍江	109	14	35	22	19	19		
	割合%	12.8	32.1	20.2	17.4	17.4	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
龍江	119	—	39	51	18	8	3		
	割合%	0.0	32.8	42.9	15.1	6.7	2.5	0.0	0.0

# 竜丘地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	竜丘		366	352 ▲ 3.8	337 ▲ 4.3	307 ▲ 8.9	▲ 12.8	▲ 16.1	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		竜丘		197	160 ▲ 18.8	143 ▲ 10.6	124 ▲ 13.3	▲ 22.5	▲ 37.1
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		竜丘		169	192 13.6	194 1.0	183 ▲ 5.7	▲ 4.7	8.3
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	竜丘	165	135 ▲ 18.2	116 ▲ 14.1	108 ▲ 6.9	90 ▲ 16.7	▲ 22.4	▲ 33.3	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	竜丘	12	14 16.7	10 ▲ 28.6	11 10.0	13 18.2			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	竜丘	—	61.0	62.5	66.4	69.0			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
竜丘	45	2	47	20	57	77	124
	—	—	37.9	—	—	62.1	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
竜丘	人数	1		8	18	28	47	22	124
	割合%	0.81	0.00	6.45	14.52	22.58	37.90	17.74	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
竜丘	99	18	38	21	22			
	割合%	18.2	38.4	21.2	22.2	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
竜丘	131	2	47	58	16	8			
	割合%	1.5	35.9	44.3	12.2	6.1	0.0	0.0	0.0

# 川路地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	川路		133	140 5.3	134 ▲ 4.3	125 ▲ 6.7	▲ 10.7	▲ 6.0	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		川路		80	67 ▲ 16.3	50 ▲ 25.4	39 ▲ 22.0	▲ 41.8	▲ 51.3
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		川路		53	73 37.7	84 15.1	86 2.4	17.8	62.3
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	川路	83	54 ▲ 34.9	52 ▲ 3.7	41 ▲ 21.2	35 ▲ 14.6	▲ 32.7	▲ 35.2	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	川路	4	4 0.0	5 25.0	3 ▲ 40.0	3 0.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	川路	—	64.4	65.5	65.5	70.8			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
川路	9	—	9	9	21	30	39
	—	—	23.1	—	—	76.9	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
川路	人数			2	8	9	13	7	39
	割合%	0.00	0.00	5.13	20.51	23.08	33.33	17.95	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
川路	36	7	9	9	11			
	割合%	19.4	25.0	25.0	30.6	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
川路	42	1	18	13	7	3			
	割合%	2.4	42.9	31.0	16.7	7.1	0.0	0.0	0.0

### 三穂地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	三穂		279	262 ▲ 6.1	255 ▲ 2.7	232 ▲ 9.0	▲ 11.5	▲ 16.8	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		三穂		215	180 ▲ 16.3	166 ▲ 7.8	143 ▲ 13.9	▲ 20.6	▲ 33.5
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		三穂		64	82 28.1	89 8.5	89 0.0	8.5	39.1
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	三穂	186	158 ▲ 15.1	139 ▲ 12.0	135 ▲ 2.9	116 ▲ 14.1	▲ 16.5	▲ 26.6	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	三穂	12	19 58.3	17 ▲ 10.5	13 ▲ 23.5	15 15.4			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	三穂	—	62.8	64.0	69.3	70.4			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
三穂	44	7	51	25	67	92	143
	—	—	35.7	—	—	64.3	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
三穂	人数		1	3	17	52	41	29	143
	割合%	0.00	0.70	2.10	11.89	36.36	28.67	20.28	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
三穂	117	12	57	36	7	5		
	割合%	10.3	48.7	30.8	6.0	4.3	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
三穂	145		31	81	29	3	1		
	割合%	0.0	21.4	55.9	20.0	2.1	0.7	0.0	0.0

# 山本地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	山本		505	488 ▲ 3.4	457 ▲ 6.4	399 ▲ 12.7	▲ 18.2	▲ 21.0	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		山本		331	283 ▲ 14.5	246 ▲ 13.1	181 ▲ 26.4	▲ 36.0	▲ 45.3
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		山本		174	205 17.8	211 2.9	218 3.3	6.3	25.3
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	山本	251	212 ▲ 15.5	172 ▲ 18.9	156 ▲ 9.3	118 ▲ 24.4	▲ 31.4	▲ 44.3	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	山本	31	35 12.9	30 ▲ 14.3	26 ▲ 13.3	26 0.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	山本	—	62.1	64.5	67.2	67.4			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
山本	52	4	56	38	87	125	181
	—	—	30.9	—	—	69.1	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
山本	人数		5	8	30	66	47	25	181
	割合%	0.00	2.76	4.42	16.57	36.46	25.97	13.81	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
山本	122	24	61	31	6			
	割合%	19.7	50.0	25.4	4.9	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
山本	187	2	69	90	24	2			
	割合%	1.1	36.9	48.1	12.8	1.1	0.0	0.0	0.0

# 伊賀良地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサ数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	伊賀良		762	708 ▲ 7.1	670 ▲ 5.4	610 ▲ 9.0	▲ 13.8	▲ 19.9	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		伊賀良		554	470 ▲ 15.2	430 ▲ 8.5	362 ▲ 15.8	▲ 23.0	▲ 34.7
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		伊賀良		208	238 14.4	240 0.8	248 3.3	4.2	19.2
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	伊賀良	481	426 ▲ 11.4	361 ▲ 15.3	334 ▲ 7.5	283 ▲ 15.3	▲ 21.6	▲ 33.6	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	伊賀良	12	21 75.0	20 ▲ 4.8	18 ▲ 10.0	20 11.1			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	伊賀良	—	61.1	62.3	65.2	67.3			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサ数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
伊賀良	114	20	134	59	169	228	362
	—	—	37.0	—	—	63.0	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサ数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
伊賀良	人数	1	4	20	64	115	105	53	362
	割合%	0.28	1.10	5.52	17.68	31.77	29.01	14.64	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
伊賀良	296	43	124	82	41	6		
	割合%	14.5	41.9	27.7	13.9	2.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサ数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
伊賀良	372	2	115	174	65	15	1		
	割合%	0.5	30.9	46.8	17.5	4.0	0.3	0.0	0.0

# 県地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	県		334	320 ▲ 4.2	302 ▲ 5.6	286 ▲ 5.3	▲ 10.6	▲ 14.4	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		県		198	175 ▲ 11.6	151 ▲ 13.7	136 ▲ 9.9	▲ 22.3	▲ 31.3
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 ▲ 8.0	2,570 ▲ 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		県		136	145 ▲ 6.6	151 ▲ 4.1	150 ▲ 0.7	3.4	10.3
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	県	139	112 ▲ 19.4	95 ▲ 15.2	85 ▲ 10.5	79 ▲ 7.1	▲ 16.8	▲ 29.5	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 ▲ 25.2	196 ▲ 9.5	151 ▲ 23.0	159 ▲ 5.3			
	県	4	3 ▲ 25.0	3 ▲ 0.0	2 ▲ 33.3	6 ▲ 200.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	県	—	60.8	64.2	67.8	69.0			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
県	46	9	55	30	51	81	136
	—	—	40.4	—	—	59.6	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
県	人数	1	1	5	15	41	49	24	136
	割合%	0.74	0.74	3.68	11.03	30.15	36.03	17.65	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
県	79	29	29	18	3			
	割合%	36.7	36.7	22.8	3.8	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
県	139		81	43	14	1			
	割合%	0.0	58.3	30.9	10.1	0.7	0.0	0.0	0.0

# 上郷地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	上郷		525	510 ▲ 2.9	491 ▲ 3.7	449 ▲ 8.6	▲ 12.0	▲ 14.5	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		上郷		358	313 ▲ 12.6	296 ▲ 5.4	258 ▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 27.9
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		上郷		167	197 18.0	195 ▲ 1.0	191 ▲ 2.1	▲ 3.0	14.4
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	上郷	281	255 ▲ 9.3	227 ▲ 11.0	217 ▲ 4.4	191 ▲ 12.0	▲ 15.9	▲ 25.1	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	上郷	4	6 50.0	7 16.7	8 14.3	8 0.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	上郷	—	60.7	62.7	66.5	67.8			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	100.0	—	—	62.0	—
上郷	88	16	104	43	111	154	258
	—	—	40.3	—	—	59.7	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
上郷	人数		1	9	39	83	86	40	258
	割合%	0.00	0.39	3.49	15.12	32.17	33.33	15.50	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
上郷	208	26	86	64	15		17	
	割合%	12.5	41.3	30.8	7.2	0.0	8.2	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
上郷	266	6	74	126	53	6		1	
	割合%	2.3	27.8	47.4	19.9	2.3	0.0	0.4	0.0

# 上村地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	上村		148	145 ▲ 2.0	111 ▲ 23.4	81 ▲ 27.0	▲ 44.1	▲ 45.3	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		上村		48	47 ▲ 2.1	27 ▲ 42.6	20 ▲ 25.9	▲ 57.4	▲ 58.3
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 ▲ 8.0	2,570 ▲ 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		上村		100	98 ▲ 2.0	84 ▲ 14.3	61 ▲ 27.4	▲ 37.8	▲ 39.0
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	上村		18	20 ▲ 11.1	11 ▲ 45.0	10 ▲ 9.1	▲ 50.0	▲ 44.4	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 ▲ 25.2	196 ▲ 9.5	151 ▲ 23.0	159 ▲ 5.3			
	上村		2	31 ▲ 1450.0	3 ▲ 90.3	2 ▲ 33.3			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	上村	—	64.9	70	71.4	75.9			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
上村	6	—	6	4	10	14	20
	—	—	30.0	—	—	70.0	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
上村	人数				1	4	9	6	20
	割合%	0.00	0.00	0.00	5.00	20.00	45.00	30.00	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
上村	11	4	3	4				
	割合%	36.4	27.3	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

都市名	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
上村	20		12	5	3				
	割合%	0.0	60.0	25.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 南信濃地区農業の現状

(表1) 農家数等の推移(農林業センサス数値)

(単位:戸、ha、歳)

参考

区分		H7	H12	H17	H22	H27	H17→H27 増減率	H12→H27 増減率	
総農家数	飯田市	6,205	5,640 ▲ 9.1	5,349 ▲ 5.2	5,021 ▲ 6.1	4,502 ▲ 10.3	▲ 15.8	▲ 20.2	
	南信濃		327	314 ▲ 4.0	255 ▲ 18.8	187 ▲ 26.7	▲ 40.4	▲ 42.8	
	販売農家	飯田市	3,823	3,292 ▲ 13.9	2,812 ▲ 14.6	2,451 ▲ 12.8	2,053 ▲ 16.2	▲ 27.0	▲ 37.6
		南信濃		106	89 ▲ 16.0	52 ▲ 41.6	27 ▲ 48.1	▲ 69.7	▲ 74.5
	自給的農家	飯田市	2,382	2,348 ▲ 1.4	2,537 8.0	2,570 1.3	2,449 ▲ 4.7	▲ 3.5	4.3
		南信濃		221	225 1.8	203 ▲ 9.8	160 ▲ 21.2	▲ 28.9	▲ 27.6
販売農家 経営耕地面積 (ha)	飯田市	2,586	2,261 ▲ 12.6	1,956 ▲ 13.5	1,779 ▲ 9.0	1,557 ▲ 12.5	▲ 20.4	▲ 31.1	
	南信濃		44	36 ▲ 18.2	23 ▲ 36.1	12 ▲ 47.8	▲ 66.7	▲ 72.7	
販売農家 耕作放棄地 (ha)	飯田市	143	179 25.2	196 9.5	151 ▲ 23.0	159 5.3			
	南信濃		6	7 16.7	5 ▲ 28.6	1 ▲ 80.0			
販売農家 農業就業者平均年齢	飯田市	—	61.6	63.3	66.5	68.2			
	南信濃	—	67.3	69.1	—	—			

下段は前回調査との比較増減率%

(表2) 農業後継者の有無別農家数(販売農家)

(2015農林業センサス数値)

	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			計
	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業後継 者がいる	他出農業後継 者がいない	小計	
	693	88					
飯田市	—	—	38.0	—	—	62.0	—
南信濃	4	—	4	4	19	23	27
	—	—	14.8	—	—	85.2	—

下段は総販売農家に占める割合%

(表3) 担い手の状況(年齢別農業経営者数)

(2015農林業センサス数値) (単位:人)

	年齢	15~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	計
飯田市	人数	3	29	87	317	649	639	329	2,053
	割合%	0.15	1.41	4.24	15.44	31.61	31.13	16.03	100.00
南信濃	人数			1		11	7	8	27
	割合%	0.00	0.00	3.70	0.00	40.74	25.93	29.63	100.00

(表4) 経営耕地面積(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:ha)

	計	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	1,631	264	644	442	216	48	17	0
	割合%	16.2	39.5	27.1	13.2	2.9	1.0	0.0
南信濃	12	4	7	1				
	割合%	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(表5) 経営規模別農家数(農業経営体、規模別)

(2015農林業センサス数値) (単位:戸)

	計	なし	~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~5.0	5.0~10	10~20	20ha以上
飯田市	2,122	19	735	933	349	78	7	1	0
	割合%	0.9	34.6	44.0	16.4	3.7	0.3	0.0	0.0
南信濃	10	1	3	6					
	割合%	10.0	30.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

◇飯田市農業振興ビジョン（案）◇

策 定	平成 30 年 2 月
編 集	飯田市産業経済部農業課
住所等	〒395-8501 長野県飯田市大久保町 2534 番地
電 話	0265-22-4511（代表）（内線 4811）
公式ウェブサイト	: <a href="http://www.city.iida.lg.jp">http://www.city.iida.lg.jp</a>
農業課メールアドレス	: <a href="mailto:nousei@city.iida.nagano.jp">nousei@city.iida.nagano.jp</a>